

創造・参加・実践  
No.648

最新のJR西労組運動をチェックしよう!

JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



ダイレクトニュース(メール)



JR西労組 LINE



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL06-6375-9869代 JR071-7155代

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 上村 良成  
編集責任者 石田原 潔

# 組合員の労苦に応える7年連続のベア獲得!!

# 成果に基づき安定的な還元を実現!

## 【主な妥結内容】

- 労働協約に定める **基準昇給の完全実施** (定期昇給分の確保)
- 純ベア800円 (社員の職務遂行給、シニア・シニアリーダー基本給に800円を加算) ※800円にエリア手当の反映分を含むと851円
- 年間臨給5.38ヶ月 ※支払日は6月30日(夏季手当2.69ヶ月) 12月10日(年末手当2.69ヶ月)
- 契約社員の時間給5円引き上げ (800円/月相当)
- 初任給調整手当を加算 (2020年度4月1日入社の新入社員に3,000円、2019年度入社に1,000円)
- 特定診断利用支援金の拡充及び増額 (対象項目に風疹・麻疹を追加。男性を3万円に増額。申請回数2回に増)
- 保育所等利用支援金の支給拡大 (対象施設・対象者の見直し)
- 動物遺骸処置等給付金が1頭(1個)単位での支払いに拡大 ※作業を行う際の衛生面の改善・教育の実施を口頭で確認

## 【口頭表明】

- 運転無事故表彰を発展的に見直し、全系統・全社員が表彰される制度への改訂に向けた検討に着手!



楳布に包まれた会議室で、ベアにこだわって闘い抜く決意をした地本代表者会議



粘り強い交渉の末、7年連続のベアを勝ち取った中央闘争委員会

中央闘争委員会は、3月11日(水)13時30分から最終交渉に臨んだ。組合員の負託を胸に、最後まで粘り強く交渉を続け、一定の成果を引き出し、席上妥結した。

中央闘争委員会は、2月7日(金)に開催した第38回中央委員会で決定した2020春闘方針を受け、2月10日(月)に要求書を会社に提出し、組合員とその家族の負託に応えるべく、鋭意交渉を交えてきた。

毎年開催している、JR連合近畿地方協議会、JR西日本連合との共催の春闘総決起集会は、新型コロナウイルスの

影響で中止となったが、346枚の楳布に寄せられた組合員の熱い思いは、中央闘争委員会への力強い後押しとなった。

そして、集中回答日の前日の3月10日(火)、地本代表者会議を開催し、春闘交渉の情勢について共有した。例年他産別に先駆けて妥結する大手自動車メーカーの動向が不

# 純ベア800円、年間臨給5.38ヶ月! グループ労組へも波及する成果を獲得

透明で、鉄鋼大手はベアを見送るなど厳しい情勢の中、JR西労組として、JR連合内の先陣を切って交渉に臨む決意が確認された。

指定した回答日である3月11日(水)に突入し、中央闘争委員会は、13時30分から交渉の席についた。

上村委員長は先頭に中央闘争委員会は、ベアにこだわって最後の最後まで粘り強く交渉し、7年連続となる純ベア800円を勝ち取った。ベアの獲得は7年連続であり、7年間で合計6,2

50円となる純ベアを積み上げることもあった。また、年間臨給については、5.38ヶ月となり、契約社員の時間給5円引き上げ、その他の総合生活改善などを含め、若手からベテラン層まで幅広く賃金改善となる成果を引き出し、席上妥結した。

上村委員長は妥結にあたり、JR西日本を支えるグループ会社に働く社員、組合員の雇用を守ることを前提に、賃金をはじめとする労働条件の改善、地位の向上についても、会社として最大限の配慮をするよう求め、JR西日本以上に厳しい状況に置かれるグループ会社の人材確保、離職防止のためにも、魅力ある賃金、労働条件、職場環境の整備は喫緊の課題であり、

グループへの対策の重要性を改めて強く訴えた。各地方での楳布・楳紙の取り組み、掲示板を活用した春闘の見える化など、中央闘争委員会の取り組み

## 2020春季生活闘争妥結にあたっての中央闘争委員会見解

JR西労組中央闘争委員会は、本日2020春季生活闘争の最終交渉に臨み、基準昇給の実施に加え、純ベア800円、年間臨給5.38ヶ月分、初任給調整の加算、特定診断利用支援金の拡充及び増額、保育所利用支援金の支給拡大、動物遺骸処置等給付金を1頭単位での給付及び作業を行う際の環境改善、運転無事故表彰を発展的に見直すことを確認し、席上妥結した。

2020春季生活闘争は、一昨年来の米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルスの感染も拡大しており、景気の先行きに不透明感が漂う中、JR西労組は連合・JR連合方針に基づき、月例賃金総額6,000円以上の引き上げ、純ベア3,000円、年間臨給5.7箇月を中心とする要求を提出し、精力的な交渉を積み重ねてきた。JR西日本の経営状況は昨年の台風19号を受けつつも、ゴールデンウィーク10連休やインバウンド需要の増加、西日本豪雨災害・大阪北部地震による災害反動の影響により、第3四半期決算までは連続・単体ともに過去最高の売上高・営業利益が見込まれる中で組合員の期待が高まる闘いとなった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、1月下旬以降の日本国内の経済活動に大きな影響が出始め、JR西日本の3月第1週の運輸輸入が前年比50%を割り込む等、これまで経験したことのない全く先行きが読めない状況であったが、2019春闘時に労使で確認した「成果に基づく安定的な還元」を行うことこそが、組合員の生活改善及び労働意欲の向上につながり、コロナウイルスの感染リスクがある中、現場で奮闘している組合員の労苦に報いることであると強く訴え、7年連続のベースアップ獲得に最後までこだわった交渉を行ってきた。

こうした私たちの強い主張に対して、会社は「新型コロナウイルスの影響でご利用が相当に落ち込み、組合員の皆さんが一体となって尽力していただいていることに感謝を申し上げる。全社一丸となって、安全・安定輸送の提供とCSの向上に取り組み、現在の新型コロナウイルスによるご利用の大幅減という危機を乗り越えつつ、中期経営計画の目標達成に向け、より一層の努力と考案が必要である。労使間で中長期的な視点に基づく建設的議論を前提に、人材確保や生産性向上などの課題に対して互いに協力して取り組み、成果を作り出していくべきと考えており、その成果に基づき、社員の皆さんに安定的な還元を行っていくことが、社員の働きがい向上や生活の安定につながるという考えは変わるものではない。労使一体となって困難を乗り越えていきたい」との最終回答を示した。

現下の見通しが厳しい状況において、労使で生み出した成果に基づく安定的な還元を引き出し、7年連続ベアにより6,250円の純ベアを積み上げ、年間臨給5.38ヶ月を確保したことは、組合員の働きがい向上に資する大きな成果であると言える。今春季生活闘争も楳布行動などへの積極的な参画により、中央闘争委員会を精力的に支えていただいたすべての組合員と家族の皆様を中心に感謝申し上げます。

今後、両バス地本、JR広島病院支部、宮島フェリー支部、JR西日本連合に結集する労組の交渉が本格化する。この成果を活かして相乗効果が発揮されるよう最大限支援していく。

最後に、今後も「安全」を基礎に、JR西日本グループの健全な発展を通じて私たちの地位の向上へ邁進していくこと、新型コロナウイルス感染拡大の「不確か」で先行きが不透明な状況においても組合員の雇用と幸せをJR西労組組合員全員で守り抜く決意を明らかにし、2020春季生活闘争妥結にあたっての中央闘争委員会の見解とする。

2020年3月11日

西日本旅客鉄道労働組合 (JR西労組)  
2020春季生活闘争中央闘争委員会



## 第2回組織対策会議で意思統一

JR西労組は、3月2日(月)第2回組織対策会議を、組織率95%に向けて組織の充実と強化に向けて各地方・総支部の代表者と開催した。

冒頭、上村委員長から新型コロナウイルスへの対応、JR東労組の分裂、出向組

## 組織率95%に向けて

## 求心力を高める

「厳しい情勢であるが、職場で奮闘している組合員に納得のいく成果を引き出した」と決意を述べた。

会議では、他労組からの組織拡大「議会の傍聴行動」などについて意見が出された。

このほか、昨今の情勢により、新型コロナウイルス感染症の対応について、組合員の不安を払拭するための議論を行った。

に対して、ご協力、ご支援をいただいたことに、改めて感謝申し上げます。また、西バス地本、中バス地本、広島病院支部、宮島フェリー支部の春闘への引

き続きの支援を要請する。 ※詳細は、業務速報または別途送付する春闘妥結解説ニュースを参照してください。